

9. 教育・文化

学校総覧

平成28年5月1日現在

学校名	創立年月日	学級数	教員数	児童生徒数 (平成28年5月1日現在)			一般校舎 面積	屋内 運動場 講堂面積	屋外 運動場
				総数	男	女			
		級	人	人	人	人	m ²	m ²	m ²
大町東小学校	S56. 4. 1	11	19	207	113	94	5,899	1,002	13,715
大町西小学校	S59. 4. 1	14	26	272	150	122	7,360	1,486	13,169
大町南小学校	S62. 4. 1	16	23	298	158	140	5,689	1,247	9,275
大町北小学校	S52. 4. 1	14	23	367	186	181	6,705	982	11,750
八坂小学校	S61. 4. 1	6	10	39	19	20	2,865	1,027	8,190
美麻小学校	S51. 4. 1	8	22	54	27	27	1,346	1,227	11,956
第一中学校	S34. 4. 1	11	23	275	128	147	6,687	2,123	12,455
仁科台中学校	S40. 4. 1	15	28	417	198	219	6,776	1,487	15,750
八坂中学校	S22. 4. 1	4	11	35	15	20	2,167	1,198	9,388
美麻中学校	S52. 4. 1	5	22	41	20	21	2,015	1,227	11,956
大町岳陽高等学校	H28. 4. 1	18	59	715	348	367	6,307	2,141	18,422
大町幼稚園	S 9. 3. 15	3	10	51	30	21	626	—	1,491
こまくさ幼稚園	S35. 4. 1	4	11	70	36	34	447	91	587
りんどう幼稚園	S55. 4. 1	4	9	49	30	19	486	150	1,540

資料：企画財政課（学校基本調査）、教育委員会、大町岳陽高校

注) 1. 学級数は特別支援教室を含む。

2. 美麻小中学校の屋内運動場及び屋外運動場は小中兼用。

幼稚園の状況

各年5月1日現在

年次	園数	学級数	園児数				教員数		園児の年齢別		
			総数	男	女	1学級 当たり 園児数	実数	教員1人 当たりの 園児数	3歳	4歳	5歳
		級	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成24年	3	9	145	85	60	16.1	17	8.5	41	46	58
25	3	10	135	63	72	13.5	18	7.5	42	47	46
26	3	11	136	65	71	12.4	18	7.6	41	45	50
27	3	12	149	74	75	12.4	25	6.0	59	47	43
28	3	11	170	96	74	15.5	31	5.5	57	65	48

資料：企画財政課（学校基本調査）

小学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	児童数			教員数 実数	学年別児童数						
			総数	男	女		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
平成24年	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
6	75	1,453	701	752	116	208	222	248	257	265	253		
25	6	72	1,397	682	715	111	193	209	224	250	255	266	
26	6	70	1,364	682	682	122	215	198	211	226	257	257	
27	6	72	1,321	678	643	122	207	215	204	208	229	258	
28	6	69	1,237	653	584	123	173	203	213	208	210	230	

資料：企画財政課（学校基本調査）

中学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数		学年別生徒数			3月 卒業 者数
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数	実数	教員1人 当たりの 生徒数	1学年	2学年	3学年	
平成24年	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	39	906	491	415	23.2	81	11.2	307	281	318	332	
25	4	38	838	451	387	22.1	77	10.9	249	310	279	318
26	4	36	820	418	402	22.8	76	10.8	266	244	310	278
27	4	34	762	369	393	22.4	87	8.8	251	265	246	309
28	4	35	768	361	407	21.9	84	9.1	255	251	262	245

資料：企画財政課（学校基本調査）

高等学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数		学年別生徒数		
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数	実数	教員1人 当たりの 生徒数	1学年	2学年	3学年
平成18年	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2	22	865	393	472	39.3	74	11.7	287	273	305	
19	2	21	829	387	442	39.5	75	11.1	285	276	268
20	2	21	820	382	438	39.0	74	11.1	286	269	265
21	2	22	845	392	453	38.4	69	12.2	303	277	265
22	2	23	868	404	464	37.7	72	12.1	303	293	272
23	2	23	854	396	458	37.1	73	11.7	281	294	279
24	2	22	852	381	471	38.7	70	12.2	283	277	292
25	2	21	821	343	478	39.1	69	11.9	265	280	276
26	2	20	775	340	435	38.8	70	11.1	235	263	277
27	2	19	734	333	401	38.6	66	11.1	244	235	255
28	1	18	715	348	367	39.7	59	12.1	242	243	230

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

注）H28年度で大町、大町北高等学校は廃校。同年、大町岳陽高等学校が創立。

中学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A 進学者 (就職進学を含む)							B 教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	就職者 (左記A・Bを除く)	左記以外の者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者 (再掲)	左記A及びBのうち就職している者 (再掲)		卒業者のうち入学を志願した者				進学率	就職率
		計	全日	定時	通信	高専	特別支援学校 (高等部)	特別支援学校 (高等部)						左記Aのうち	左記Bのうち	高校	高専	後期過程 (本科)	中等教育学校		
平成24年3月	332	328	315	1	9	2	1	—	—	4	—	8	—	—	319	2	—	1	98.8	—	
男	162	159	154	1	4	—	—	—	—	3	—	6	—	—	158	—	—	—	98.1	—	
女	170	169	161	—	5	2	1	—	—	1	—	2	—	—	161	2	—	1	99.4	—	
平成25年3月	318	317	304	6	3	2	2	—	—	1	—	13	—	—	310	2	—	2	99.7	—	
男	169	168	161	4	1	1	1	—	—	1	—	9	—	—	165	1	—	1	99.4	—	
女	149	149	143	2	2	1	1	—	—	—	—	4	—	—	145	1	—	1	100.0	—	
平成26年3月	278	276	256	6	5	6	3	—	—	2	—	8	—	—	262	6	—	3	99.3	—	
男	155	154	139	4	3	6	2	—	—	1	—	4	—	—	143	6	—	2	99.4	—	
女	123	122	117	2	2	—	1	—	—	1	—	4	—	—	119	—	—	1	99.2	—	
平成27年3月	309	304	293	4	2	2	3	—	—	5	—	6	—	—	297	2	—	3	98.4	—	
男	165	164	158	1	1	1	3	—	—	1	—	4	—	—	159	1	—	3	99.4	—	
女	144	140	135	3	1	1	—	—	—	4	—	2	—	—	138	1	—	—	97.2	—	
平成28年3月	245	244	234	3	3	4	—	—	—	1	—	6	—	—	238	4	—	—	99.6	—	
男	127	126	121	1	—	4	—	—	—	1	—	5	—	—	123	4	—	—	99.2	—	
女	118	118	113	2	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	115	—	—	—	100.0	—	

資料：企画財政課（学校基本調査）

高等学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A 進学者 (就職進学を含む)					B 教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	就職者 (左記A及びBを除く)	無業者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者 (再掲)	左記A及びBのうち就職している者 (再掲)		卒業者のうち入学を志願した者		進学率	就職率
		総数	大学	短大	通信教育	大・短大の別課						左記Aのうち	左記Bのうち	大学	短大		
平成24年3月	274	149	109	40	—	96	24	5	—	88	—	—	139	40	54.4	8.8	
男	120	62	56	6	—	42	14	2	—	39	—	—	76	6	51.7	11.7	
女	154	87	53	34	—	54	10	3	—	49	—	—	63	34	56.5	6.5	
平成25年3月	291	131	95	36	—	114	41	5	—	72	—	—	141	26	45.0	14.1	
男	152	73	67	6	—	59	17	3	—	54	—	—	75	6	48.0	11.2	
女	139	58	28	30	—	55	24	2	—	18	—	—	66	20	41.7	17.3	
平成26年3月	271	123	95	28	—	103	38	7	—	87	—	—	136	28	45.4	14.0	
男	118	55	52	3	—	47	14	2	—	45	—	—	80	3	46.6	11.9	
女	153	68	43	25	—	56	24	5	—	42	—	—	56	25	44.4	15.7	
平成27年3月	274	137	105	32	—	53	36	6	—	86	—	—	126	32	50.0	13.1	
男	113	56	54	2	—	24	11	3	—	40	—	—	69	2	49.6	9.7	
女	161	81	51	30	—	29	25	3	—	46	—	—	57	30	50.3	15.5	
平成28年3月	253	128	103	25	—	53	40	1	—	69	—	—	110	25	50.6	15.8	
男	103	49	47	2	—	18	17	—	—	36	—	—	63	2	47.6	16.5	
女	150	79	56	23	—	35	23	1	—	33	—	—	47	23	52.7	15.3	

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の産業大分類別就職者数(県内)

5月1日現在

産 業 別	27年3月卒			28年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	25	2	23	28	8	20
農 林 業	1	-	1	-	-	-
建 設 業	-	-	-	-	-	-
製 造 業	4	-	4	12	5	7
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 , 水 道 業	2	2	-	1	1	-
情 報 通 信 業	-	-	-	-	-	-
運 輸 業	1	-	1	3	2	1
卸 売 ・ 小 売 業	8	1	7	5	2	3
金 融 ・ 保 険 業	-	-	-	-	-	-
不 動 産 業	-	-	-	-	-	-
飲 食 店 , 宿 泊 業	5	-	5	4	1	3
医 療 , 福 祉 業	1	-	1	1	-	1
サ ー ビ ス 業	8	2	6	7	1	6
公 務 業	-	-	-	1	1	-
そ の 他	5	5	-	6	4	2

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の職業分類別就職者数(県内)

5月1日現在

産 業 別	27年3月卒			28年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	25	2	23	28	8	20
専 門 技 術 従 事 者	2	2	-	3	3	-
事 務 従 事 者	2	-	2	7	1	6
販 売 従 事 者	7	1	6	5	2	3
農 林 業 作 業 従 事 者	-	-	-	-	-	-
運 輸 ・ 通 信 業 従 事 者	-	-	-	2	1	1
技 能 工 程 生 産 工 程 作 業 従 事 者	4	-	4	10	3	7
単 純 労 働 従 事 者	-	-	-	-	-	-
保 安 職 業 従 事 者	-	-	-	1	1	-
サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	13	1	12	6	1	5
そ の 他	7	6	1	6	5	1

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の県内地区別就職者数

各年5月1日現在

年次	就職者総数	県外就職者	県内就職者		大北地域			その他の地方					
			人数	就職率	計	大町市	北安曇郡	計	松本市	長野市	岡谷市	安曇野市	その他
平成24年	人 24	人 2	人 22	% 91.7	人 13	人 7	人 6	人 9	人 5	人 3	人 -	人 1	人 -
25	41	7	34	82.9	18	15	3	16	7	2	-	4	3
26	37	8	29	78.4	12	12	-	17	8	2	-	7	-
27	36	3	33	91.7	19	18	1	14	7	4	-	3	-
28	40	-	40	100.0	23	16	7	17	6	4	-	6	1

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の都道府県別大学等進学者数

各年5月1日現在

年次	総数			県内		県外（都道府県別）									内訳
	計	男	女	人数	率	計	率	東京	神奈川	山梨	愛知	埼玉	千葉	その他	
平成24年	人 149	人 62	人 87	人 61	% 40.9	人 88	% 59.1	人 22	人 10	人 5	人 13	人 2	人 2	人 34	
25	131	73	58	59	45.0	72	55.0	15	9	7	8	5	3	25	
26	123	55	68	30	24.4	93	75.6	27	8	4	7	5	2	40	
27	137	56	81	51	37.2	86	62.8	18	8	10	2	4	2	42	
28	114	49	65	45	39.5	69	60.5	11	4	4	3	6	11	30	

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

奨学金貸与の状況

平成27年3月31日現在

年度	貸付者数				貸付額		減免額		償還者数	償還額	
	大学生		高校生		年額	累計額	年額	累計額		年額	累計額
	新規	継続	新規	継続							
平成23年度	人 1	人 1	人 -	人 2	千円 1,080	千円 70,354	千円 0	千円 14,592	人 16	千円 1,590	千円 46,009
24	-	2	-	-	720	71,074	0	14,592	14	1,413	47,422
25	-	1	-	-	360	71,434	0	14,592	16	1,387	48,809
26	1	-	-	-	360	71,794	0	14,592	13	1,518	50,327
27	1	1	-	-	720	72,514	0	14,592	12	1,877	52,204

資料：教育委員会 注)旧八坂村・旧美麻村は該当なし。

図書館貸出冊数の推移

年 度	児童図書・紙芝居	一般図書等（注）	計	一日平均
平成23年度	51,831	113,932	165,763	588
24	49,268	103,214	152,482	531
25	50,731	104,442	155,173	548
26	50,393	105,840	156,233	554
27	52,937	100,845	153,782	532

資料：市立大町図書館

（注）一般図書には視聴覚資料等の利用も含む

図書館登録者数（累計）

年 度	児 童	高校生・一般	計	一人当たり貸出数
平成23年度	3,264	14,974	18,238	9.1
24	3,397	15,323	18,720	8.1
25	3,545	15,697	19,242	8.1
26	3,688	16,095	19,783	7.9
27	3,825	16,475	20,300	7.8

資料：市立大町図書館

図書館の蔵書と利用冊数

分 類	蔵書冊数 冊	蔵書構成比 %
N 郷 土 資 料	6,657	4.8
0 総 記	4,471	3.2
1 哲 学	4,039	2.9
2 歴 史	9,498	6.9
3 社 会 科 学	13,920	10.0
4 自 然 科 学	9,838	7.1
5 技 術	7,466	5.4
6 産 業	3,664	2.6
7 芸 術	10,764	7.8
8 語 学	1,815	1.3
9 文 学	31,746	22.9
小 計	103,878	—
大 活 字 本	1,737	—
児 童 図 書	34,077	24.6
紙 芝 居	1,025	—
大 活 字 本	—	—
点 字 図 書	633	0.5
図 書 合 計	138,588	100.0
園 文 庫	3,858	—
雑 誌	4,704	—
C D	1,710	—
ビ デ オ	1,585	—
D V D	626	—
テ ー プ 図 書	1,768	—
合 計	152,839	—

資料：市立大町図書館

平成28年3月31日現在

資料種別	27年度貸出数
一般図書	85,913
児童図書	52,937
郷土資料	646
資料小計	139,496
雑 誌	6,546
フ リ ー	4,511
C D	2,775
ビ デ オ	454
学習室利用	5,222
合 計	159,004

夏期大学講座の受講者数

年 度	職業別受講者				地域別受講者					
	総 数	教 員	学 生	そ の 他	県内					県外 一般
					郡 内 教 員	郡 般 内 一	教 他 郡 員 市	一 他 郡 般 市	学 生	
平成17年度	2,063	1,145	14	904	…	…	…	…	…	74
18	2,340	1,201	19	1120	1,168	861	33	131	19	128
19	2,111	1,177	2	932	1,155	777	22	79	2	76
20	1,963	1,118	8	837	1,079	698	39	83	8	56
21	1,987	1,123	6	858	1,097	663	26	98	6	97
22	1,838	999	33	806	969	596	30	137	33	73
23	1,893	1,078	27	788	1,049	555	29	148	27	85
24	1,810	961	2	847	946	626	15	166	2	55
25	1,817	999	1	817	982	655	17	124	1	38
26	1,826	998	3	825	981	651	17	120	3	54
27	1,847	928	1	918	914	699	14	162	1	57
28	1,931	996	1	934	974	762	22	117	1	55

資料：北安曇教育会

注) 数値は開講中の延べ数

山岳博物館の観覧状況

年 度	総 数				一 般 個 人			団 体			減免及び 無料入館者
	計	大 人	高 校 生	小 中 学 生	大 人	高 校 生	小 中 学 生	大 人	高 校 生	小 中 学 生	
平成23年度	18,032	15,326	455	2,251	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	14,001	12,162	642	1,227	9,818	144	640	2,344	498	587	2,132
25	10,672	9,558	239	875	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	17,432	15,395	774	1,263	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	15,106	13,156	545	1,405	10,427	101	795	2,729	444	610	3,136

資料：山岳博物館

注) 減免及び無料入館者は総数に含まない。

文化財

平成28年3月31日現在

名称・指定年月日・所在地	説 明
国指定文化財	
[国 宝]	
仁科神明宮本殿・中門(前殿) S28. 3. 31 社1159番地	本殿は桁行3間・梁間2間・神明造・檜皮葺。中門(前殿・御門屋)は四脚門・切妻造・檜皮葺で釣屋がこれらを連結している。ともに寛永13年(1636)の造営で江戸時代初期の端正な建築である。本殿は神明造の建築物として、わが国で最古の様式を伝えていることで極めて高く評価されている。
[重要文化財]	
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30 社2937番地-1	もとは東北側山中の山寺地籍にあった堂を移築したものと伝えられているが、仁科氏の祈願寺であった関係から、同氏によって造られたものと考えられる。室町時代に建立されているが、鎌倉時代末頃の創建当時のおもかげをわずかにとどめている。桁行3間・梁間3間の寄棟造で、松本平最古の木造建築物である。
木造棟札 S25. 8. 29 社1159番地	永和2年(1376)から安政3年(1856)にいたる480年間に及ぶ27枚が指定されており、棟札が単独で指定されているのは全国でもこれだけである。この棟札によって仁科神明宮の20年に一度の式年造営の様子、仁科氏の家系と家臣、造営事情等を詳細に極めることができ、地方文化の究明の上でも貴重な資料とされている。仁科神明宮蔵。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12 大町2097番地	一間社・隅木入春日造・檜皮葺で、承応3年(1654)の棟札1枚が付属指定されている。室町時代の末頃に仁科氏によって造営されたもので、建築様式に多くの地方様式を残している。
鉄鰐口 S32. 2. 19 社4886番地2	面径24cmで表面に安貞2年(1228)8月の陽刻銘が見られる。木船にあった仁科氏の祈願寺跡から出土したものと伝えられており、鉄製で年代の明らかな鰐口としては、わが国最古のものである。このような珍しい鰐口が、この地に残っているのは、仁科氏文化の性格を語るものとして貴重で興味深い。木船部落所蔵。大町山岳博物館保管。
御正体 S36. 2. 17 社1159番地	銅製の円盤に仁科神明宮の本地仏大日如来などを取り付けた懸仏で、指定されているのは5面であるが、ほかに11面が附属指定されている。裏面に「弘安元年卯月廿一日」の朱漆銘のあるものや、「弘安九年十二月廿二日」の墨書銘のあるものがあるほか、「志ん名」「志んめいの御しやうたい」と記されているものがある。仁科神明宮蔵。
木造千手観音立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	檜材、寄木造、像高168.2cm。像造年代が、平安時代末期であるが、技法や彫り方にはそれ以前のものを感じさせる。木像の胎内には、願主・仏師などの名前や治承3年(1179)3月と年代など造像事情を記した墨書木札1枚、白銅製菊花双雀文鏡1枚、紙本千手観音摺仏28枚が納入されており、白銅鏡は附属指定となっている。藤尾覚音寺の本尊で、「藤尾の観音さま」と呼ばれ、人々に親しまれている。
木造持国天立像・木造多聞天立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・建久5年(1194)、多聞天・建久6年(1195)年と年号の陰刻銘が刻まれており、これが造像年代と考えられる。鎌倉時代初頭の造像であるが、作風は平安時代後期の作風を残している。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H9. 12. 3 美麻17668番地	主屋は、桁行14間・梁行6間・建坪84坪(約278㎡)の木造平屋・茅葺・寄棟造で、元禄11年(1698)建立と建築年代が明らかな民家として県内最古で、大きさも当時の民家としては県内屈指で、農村における居住形態を知る上で貴重である。 土蔵は、桁行6間・梁行4間の切妻造で、安永9年(1780)と建築年代が判明するものとしては県下で古い例に属す。置屋根で軒支柱を立てて屋根の荷重を支える構造である。

[国 天然記念物]	
高瀬渓谷の噴湯丘と球状石灰石 T11. 10. 12 平 湯俣	高瀬渓谷の湯俣川下流付近で、温泉沈殿物(主に炭酸カルシウム)が河床に堆積して小さな火山のような形(噴湯丘)になり、中央の湧き口に白い小豆粒大の霰石(あられいし)【球状方解石】ができる現象が珍しい。
[国 特別天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
ライチョウ S30. 2. 15	動物・鳥類
カモシカ S30. 2. 15	動物・哺乳類
[国 天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
イヌワシ S40. 5. 12	動物・鳥類
ヤマネ S50. 6. 26	動物・哺乳類
[長野県宝]	
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14 大町4188番地	平安時代中期の制作と考えられるもので、櫓(けやき)の一木造。後に補われ修理された部分もあるが、平安時代初期の貞観様式を多分にもつ安曇平最古の木像である。像高5尺3寸3分(約161. 5cm)の立像。弾誓寺観音堂保存会蔵。
若一王子神社三重塔及び棟札 S41. 1. 27 大町2097番地	弾誓寺六世木食故信法阿の発願で宝永3年(1706)から工事を始め、宝永8年(1711)に竣工した。墓股(かえるまた)内部に方位に合わせ獣面人身という珍しい彫刻が施されており、この地方としてはまれに見る優雅な塔で、松本平で唯一の木造の塔である。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27 大町4729番地4	若一王子神社の三重塔の原型とも言い伝えられ、10分の1の縮尺であるとされているが、細部の手法には若一王子神社の三重塔とは異なったところが見られる。造られた年代は江戸中期とみられる。
大黒町舞台 S62. 8. 17 大町2199番地	諏訪の名匠二代目立川和四郎富昌により、江戸時代後期の文政9年(1826)頃までに完成したと思われる。二層構成・切妻起屋根・三輪形式の稼働舞台。随所に入念巧運な立川流の彫刻があり、美術的価値が高い。明治21年(1888)年に松本の本町二丁目から購入し、以来毎年7月の若一王子神社の夏祭りに市街を巡行している。大黒町自治会蔵。
霊松寺山門 H5. 8. 12 大町6665番地イ	入母屋造・正面3間・側面2間の楼門形式の八脚門で総櫓造(そうけやきづくり)である。和様の重厚な形式を基本にして、唐様を取り入れた折衷様式でいたる所に施された素木彫の建築彫刻は、江戸時代後期立川流の流れをよく表している。嘉永5年(1852)に諏訪郡高部村の藤森広八(二代目政因)が棟梁となって、松川村観勝院に建てられたが、同寺が廃寺となった明治11年(1878)に霊松寺へ移築されたものである。
銅造十一面観音坐像御正体残闕 (ざんけつ) H11. 3. 18 大町2097番地	若一王子神社観音堂の現在の本尊。本来は懸仏であったものであるが鏡板を失い仏体のみとなっている。鑄銅造で像高19cm、蓮華座の高さ3cmの坐像で、右手は施無畏、左手には瓶中蓮を持っていたと思われるがこれも失われている。元は金銅仏であったと思われるが、今は剥落している。やや下膨れの顔が柔和で、体型はふっくらとしている。彫りは浅く衲衣(のうい)も簡略であるができればは優美である。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16 社3945番地2	鎌倉～室町時代に社閨田の東山中にあったと伝えられる山寺廃寺跡から出土した火葬骨の蔵骨器で、四耳壺1・瓶子2・土師質小皿1・青白磁水注1・写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1がある。四耳壺・瓶子は古瀬戸で鎌倉時代中期以前の優れた製品で、水注は中国の景德鎮での製造と推定される。大町市民俗資料館保管。
若一王子神社観音堂及び宮殿 H23. 9. 29 大町2097番地	観音堂は江戸時代中期の宝永3年(1706)に建立された宝形造、茅葺・三間四面の和様建築。内部は表側2間通りを外陣とし、奥1間通りを内陣として宮殿(厨子)を置く。宮殿は、禅宗様式を多く取り入れ、和様と唐様を折衷したものである。

[長野県無形文化財]	
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3 社1159番地	仁科神明宮の秋の例祭に奉納される、能を取り入れた神楽。演目は剣の舞・岩戸神楽・五行の舞・水継・幣の舞・竜神神楽・道祖神の7座である。舞だけの座と舞を伴いつつ謡曲によって天の岩戸・海幸山幸・天孫降臨の神話を展開していく座がある。
[長野県無形民俗文化財]	
仁科神明宮・作始め神事 H2. 2. 19 社1159番地	仁科神明宮の春の例祭に、伊勢神宮の祈念祭(としごいのまつり)にならって行われている神事。鍬初めから苗代づくり・種播き・鳥追いまでの一連の水田耕作の所作が、神楽殿内を一坪の広さに仕切った中で演じられる。その年の作況を占う神事。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20 大町2097番地	毎年7月28日～29日(旧来は7月15日～17日)の若一王子神社の例祭で、最終日に行われる7～8歳の男子が化粧をして狩衣装束をつけ飾った馬に乗り、的板めがけ弓矢を射る神事。この神事のもとには農作の豊凶を占う神事で、武士の間で盛んであった「やぶさめ」の形を取り入れた地方色の強い神事と考えられる。
[長野県史跡]	
上原遺跡 S35. 2. 11 平1955番地355ほか	昭和25年～27年の数次にわたる発掘調査で配石跡や竪穴等の遺構の発見があった縄文時代前期を代表する遺跡。配石遺構は2群あって、1号群は中心石柱1個、側石柱12個により南北径3.6m、東西径2.2mの楕円形に復元され、2号群はこの南に2.4m離れ、中心石柱1個、側石柱6個により径1.8mの円形に復元されている。竪穴は配石跡の南40mにあり、径2m・深さ1mの円形竪穴で、側壁が階段状になっており焚火跡も見られた。出土遺物では、土器は縄文時代前期のものを中心とし、それに伴う石器は石斧・石鏃・石匙・石錐・塊状耳飾等がある。指定区域面積は約40,000㎡。
[長野県天然記念物]	
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12 美麻3342番地	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静かの桜」と呼ばれる。目通り幹囲は8.45m、太い幹に比して樹高約20mと低い。枝は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。開花期は5月下旬で、花径5mmぐらいの梅花状の白い花が穂状につく。 このようなイヌ桜の巨木は非常に珍しく貴重である。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30 大町2097番地	約300本のスギと約130本のヒノキを主体にした、指定区域面積17,186.4㎡の社叢である。平坦地においてこれだけの面積の針葉樹林が見られるのは珍しく貴重である。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17 社1159番地	国宝仁科神明宮を囲むスギ、ヒノキを主体とした、指定区域面積19,257.78㎡の社叢である。境内入口にある三本杉(現在中央1本を失っている)や国宝本殿の西側にあるスギは、目通り周囲5m樹高50mを越える巨木でこれらに加え境内には幹囲2mをこえるスギ20数本・ヒノキ10数本が生育し古い歴史を物語っている。
居谷里湿原 S46. 8. 23 大町8279番地10ほか	この湿原の状態は、ミズゴケのよく育ったところもあり、泥炭層の発達したところもあって、必ずしも一様ではない。湿原内にはモウセンゴケやミミカキグサ・タヌキモなどの多種の食虫植物のほか、ハンノキ・ミヤマウメドキ・イソノキなどの木本と、ミズバショウ・リュウキンカ・ミツガシワなどの草本等、湿原特有の植物が見られる。また、県内では珍しい暖地性のハチョウトンボの生息地であり、ハナノキの隔離分布として学術上貴重な湿原である。指定区域面積は、20,902㎡。
大町市のカワシンジュガイ生息地 H19. 1. 11 農具川水系 居谷里沢水系	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川(平20677番地2先から15637番地1先まで)と居谷里沢(大町8267番地11先から8194番地先まで)の生息地2箇所を地域指定。
[長野県天然記念物]	
ミヤマモンキチョウ S50. 2. 24	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。 動物・高山蝶

ヤリガタケシジミ S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネキマダラセセリ S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモマツマキチョウ S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモバネヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
コヒオドシ S50. 2. 24	動物・高山蝶
オオイチモンジ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ベニヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ホンドオコジョ S50. 11. 4	動物・哺乳類
ホンシュウモモンガ S50. 11. 4	動物・哺乳類
[大町市有形文化財]	
広形銅戈(海の口上諏訪社) S46. 12. 10 平14505番地	出土地等は明らかではないが、糸魚川地方または小谷村と推定されている。全長24. 5cm。銅戈は、北九州から近畿地方に分布しているが、中部地方以北の出土は稀で、弥生文化の伝播を知る貴重な資料である。大町市文化財センター保管。
盛蓮寺木造不動明王立像 S57. 3. 3 社2937番地1	腰をひねるようにして、右足に体重をのせて岩座に立つ。半眼半開、二牙を上下交互にあらわしている。右肩にたれる髪の一部、左臂、裾に傷が見られる他はほぼ完全であるが、右手に構える剣を失っている。鎌倉時代末の製作で台座・光背は後の時代に補っている。総丈98cm・仏丈65cm・岩座15. 5cm。
盛蓮寺木造薬師如来坐像 S57. 3. 3 社2937番地1	室町時代前半の文安4年(1447)に製作された檜材の小像である。小さいながら作風は大まかにゆったりとしており大きな感じをあらわしている。本像の胎内に「文安第四丁目卯三月廿四日 願主 喜香叟」の墨書銘がある。台座・光背・両手首・薬壺等を失っている。
大沢寺木造阿弥陀如来立像 S62. 3. 23 大町4156番地	檜材・寄木造。全高78cm。後補を繰り返していると思われ、鉢部は室町時代末～桃山時代。頭部は、古く平安時代の藤原様式が伺える。形状は整い均整がとれている。仁科氏の旧臣であった松村市左衛門の拝仏堂に安置されていたと伝えられる。
西正院木造大姥尊坐像 S63. 1. 14 平1298番地	檜材・寄木造。像高39. 5cm。頭に白布をかぶり、ゆったりとした単衣をまとい、帯を前に結び右脚を立てて坐った老婆の姿の像で、写実性に富、量感も豊かな室町時代中期の作。台座を失っている。当地における山岳信仰の一面を伝える証左として貴重。
天正寺山門 S63. 1. 14 大町4730番地1	装飾的な要素がほとんど無い、純粋な和様の薬医門である。元禄元(1688)年の建立で宝暦10(1760)年修理しているが、柱から梁間は、建立当時のままとされる。禅寺にふさわしい簡素な山門で江戸時代中期の数少ない建造物である。現八坂村大塚の丸山九郎左衛門尉が寄進したもの。
長性院木造聖観世音菩薩立像 H1. 3. 28 大町3682番地4	檜材・寄木造。総高184. 3cm、像高107cm。弾誓寺6世木食山居による江戸時代中期の作。背面下部に「万躰之内 木食山居作」の墨書銘がある。木食山居の数多い仏像の中でも、最も円熟した時期における大型で入念な作品である。
盛蓮寺木造如意輪観音坐像 H3. 5. 31 社2937番地1	檜材・寄木造。像高77. 6cm。後補の著しい像であるが、左膝の後部は造像当初のもので、鎌倉時代後期の像容がみられる。享保3年(1718)に修理したことを伝える朱漆銘が光背裏にある。一般的な如意輪観音の印相と左右逆になっている。
木舟薬師堂木造薬師如来立像 H3. 5. 31 社4886番地2	檜材・寄木造。総高122. 8cm、像高113cm。後補の著しい像であるが、体部と両肩から先の主要部分は造像当初のもので、鎌倉時代後期の写実的な像容が見られる。寛文6年(1666)に修理したことを伝える木札が残っている。
弾誓寺観音堂木造伝弾誓上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高75cm。像容は、衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して合掌する姿である。およそ江戸時代17世紀中頃の作。地方色でありながら彫技の冴えのみられる完成度の高い作品である。本像は江戸時代前期の常念仏盛行の時代を看取れる貴重な文化財である。

<p>弾誓寺観音堂木造伝長音上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地</p>	<p>檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高78cm。像容は、衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して両手で数珠を持つかと見られる姿である。胎内の胸部および背部の2カ所に墨書銘が記されている。江戸時代中期の元禄13年(1700)制作。弾誓寺4世願誉岳空寂阿野造像。本格的な彫技を用いた貴重な作品である。</p>
<p>盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28 社2937番地</p>	<p>桂材・寄木造。像高24.1cm。制作は室町時代前半と考えられる。台座・光背・持物・彩色等は江戸時代後期に補われたもの。虚空蔵菩薩像は、県下において室町時代前半に遡る類例が少なく、真言密教及び修験道の信州への伝播を示す貴重な仏像である。</p>
<p>天正寺木造葉師如来立像 H7. 4. 26 大町4729番地</p>	<p>檜材・寄木造。像高261cm。胎内に打ち付けられた木札の墨書銘から造仏を修行とする作仏聖「生誉蓮入比丘」により延宝5年(1677)5月に造立されたことがわかる。かなりの巨大像であり、しかも丁寧に仕上げられている点で文化的価値が高い。</p>
<p>大黒町追分の石造大黒天像・附版木 H8. 3. 25 大町1514番地1</p>	<p>嘉永5年(1852)に高遠の石工によって彫られた石像で、大黒町の名の由来ともなっている。現在のところ松本平では最大(全長約1.7m)にして最古のもので、彫刻技術も優れている。造立の由来を記した趣意書の版木も残っている。</p>
<p>山寺廃寺跡出土遺物 H8. 3. 25 社3945番地2</p>	<p>写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1、灰釉小皿1の2点。県宝指定されている「山寺廃寺跡出土品」と同じ、社閨田の山寺廃寺跡から出土したものであるが表面採集されたもので出土状況は明確でない。大町市民俗資料館保管。</p>
<p>若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24 大町2097番地</p>	<p>檜材・寄木造。推定像高180cm。11世紀の製作。台座・光背・瓔珞(ようらく)の残闕(ざんけつ)は江戸時代の後補。明治時代の初めに燃やされ軀部が大きく損傷を受けているが、若一王子神社の本地仏と考えられ、神社の歴史を語る資料として貴重である。</p>
<p>仁科神明宮銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25 社1159番地</p>	<p>円形、直径27.4cm。鏡背には五大明王、奉納者名、紀年銘などが記されている。この鏡は江戸時代寛永13年(1636)の仁科神明宮式年造営の時に日岐盛貞によって奉納されたもので実用品ではない。</p>
<p>仁科神明宮木造棟札 H10. 3. 25 社1159番地</p>	<p>国の重要文化財に指定されている室町時代(1376)～江戸時代末期(1856)の27枚の棟札に続く明治時代～昭和時代の棟札6枚。仁科神明宮で20年に一度行われる式年造営の歴史を明らかにできる資料である。</p>
<p>仁科神明宮木造小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25 社1159番地</p>	<p>江戸時代初期の慶長19年(1614)に松本領主小笠原秀政が、領内の主要な社寺に対してその保護を目的として交付したものの一枚である。檜板に墨で禁制文が書かれた縦34cm、横61.3cmの高札である。</p>
<p>山下神社木造小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26 社6097番地</p>	<p>小笠原秀政が領民掌握のために、社寺境内に交付した禁制札である。慶長19年(1614)5月15日の墨書銘が残る。高札上部には屋根形の棧があった痕跡が残るが、現在は、失われている。法量は最大高33.8cm、最大幅59.0cm。</p>
<p>八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22 大町2097番地</p>	<p>「天王様の神輿」として市民に親しまれた神輿は、戦後しばらくまで7月15日の八坂神社例祭時に巡行されたものである。江戸中期18世紀初頭の製作とされ、若一王子神社観音堂宮殿などを建立した大町の宮大工金原一門の手になったものと推定される。</p>
<p>飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括附その他の史料 H15. 2. 26 大町4700番地大町市文化財センターほか</p>	<p>江戸時代末期から明治初年にかけての野口村庄屋文書を中核とする。この中で注目されるのが信州内陸部と北陸沿岸部を結んだ交流最短路である「信越連帯新道」開削の関係史料である。指定数は、古文書類628点、その他看板等の史料84点を数える。</p>
<p>八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19 大町1134番地9</p>	<p>仏像の総高168cm、仏高114cm、台座高40cmを測る。製作年代は頭部檜材が鎌倉時代、軀部が江戸時代初期、台座が江戸時代中期と補作が見られる。かつては右手に戟を持ち、左手に宝塔を掲げていたが、現在は欠失している。</p>

西澤正雄氏所有文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19 大町4700番地 大町市文化財センター保管	西澤家文書には江戸時代初期の庄屋関係文書と江戸時代末期の大庄屋関係文書とが含まれている。指定された古文書類は、慶長16年(1611)年～明治25年(1892)におよぶ258点、その他の史料1点を含む。
栗林士郎氏所有文書一括 H17. 3. 25 大町4700番地 大町市文化財センター保管	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家柄である。今回指定された文書の内容は、庄屋という役目上から関与した法令・藩制村制・租税・土地・林野・戸口・農林業・醸造・水利・土建・治安・宗教・凶災・救恤・身分・絵図等々の農政に関する文書と大町の宿場に関わる交通・宿駅・運輸・通信・商業・都市等々の分野の古文書を包括して極めて多彩である。
高橋鴻生氏所有文書一括 H18. 3. 27 大町4700番地 大町市文化財センターほか	高橋家は、大庄屋格を受け、江戸期を通じて松崎村庄屋、間田村庄屋を兼務した家柄である。所蔵文書には、長年勤めた村方文書を主とする、租税関係、用水堰普請などのほか地域の特産である苺の栽培・出荷関係であるとか家業の酒造関係文書がある。 特出すべきものとしては、文政8年に当地で発生した赤藁騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤藁騒動』は唯一の現存本として大変貴重なもの。
生婦平出土銅造瑞花双鳥八稜鏡 H18. 3. 27 八坂1108番地1 八坂支所	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。花卉を摸した八稜縁に、双鳥や文花が施される唐式鏡から和鏡への過渡期を示す。
大平地蔵堂の木造地藏菩薩立像 H18. 3. 27 八坂1298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の作と考えられる像である。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27 八坂5693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隈流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。神社祭神は健御名方命。麻田家に建立に関する由緒書が残っている。
野平神社本殿 H18. 3. 27 八坂14695番地	祭神は、天照大神(明神)、健御名命(諏訪)誉田別命(八幡)の三神を祀り、江戸時代前期の元和5年(1619)8月10日の勧請と言われる。本殿は、三間社・流造り、柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大工は、大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27 八坂9641番地1	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、約200年にわたって5つの彫刻が刻まれたものである。年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化4(1807)年。④徳本上人名合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。大日如来のお祭は、もとは、4月8日に行なわれていたが、現在は、5月8日に行なわれている。
北条峰の徳本上人追善供養塔 H18. 3. 27 八坂13609番地口ー1	砂岩製で残存する石碑高が108cm、最大幅が85cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本 文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。 碑文によると製作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。
曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27 八坂9179番地4	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は、砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。塔身正面は、花頭形輪郭を彫り窪め、上部には円輪郭の中に阿弥陀如来、観世音菩薩、勢至菩薩の三体、いわゆる阿弥陀三尊像を半肉彫りしている。その下に「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による。毎年5月3日には講中によるお祭が現在でも行なわれている。平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在した。

富士浅間神社本殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	一間社・流造。規模は、間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日の再建されたもので、立川豊八(安曇郡長尾組岩原住)による建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	江戸時代中期の建立。伝元禄11年(1698)大工は千見村真面、久兵衛による建築。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁、床板張り舞台は、幅11m、高さ2.8m舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27 美麻2708番地	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、保存も良好である。制作年代の最も古いものは安永6年(1777)から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27 美麻25878番地	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営再建である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原基五郎、曾根原謙蔵。神社の棟札には、慶長17(1612)年、寛文3(1663)年、宝永4(1707)年、天保12年(1841)年、嘉永2年(1849)年等が存在する。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行六名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定されている。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27 美麻25878番地	千見神明宮拝殿に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が今回指定された。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)にわたる。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27 美麻9152番地	一間社・流造り。彫刻が優れる。古い棟札として、江戸時代中期享保4年(1719)のものが残る。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。庄屋小林家にはこの時の造営帳が残っており大変貴重である。
下條家関守門 H18. 3. 27 美麻26036番地	松本藩と松代藩とが境を接する旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、当時50石をあたえられて鉄砲組を配し、警備にあたった。門正面は三間、奥行き二間の門に、切妻屋根。北側には三間の長屋が残存する。現在は、トタン屋根であるが、もとは茅葺き。
下條秀則氏所有文書一括 H18. 3. 27 美麻26036番地	元和年間(1615)より明治初期に及ぶ武家(藩の記録)、関守文書(46点、26%)を中心とする。藩政の一端を担った在地の史料として貴重。
中村武本氏所有文書一括 H18. 3. 27 美麻17668番地 中村家住宅土蔵	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政お呼び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。また、「中村家年代記」のように出来事や世の中の風聞など村ならではの史料が残される。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 27追加指定 美麻17668番地旧中村家住宅土蔵及び常盤3662番地4	もともとの大塩の高札場(大塩南村)は、現在県天然記念物になっている「静の桜」より、100mほど南側の街道沿いに存在したものであり、指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」(正徳元年(1711)・91×33cm)。②「毒薬禁制」(正徳元年(1711)・124×49cm)。③「にせ銭金制」(天保10年(1839)・82×36cm)。④「親子・博奕・忠孝等の定め」(正徳元年(1711)・123×52cm)。①～③の3点は旧中村家土蔵に展示されている。④は若林正臣氏所有。
向生仏屋敷出土灰釉陶器広口瓶 H18. 3. 27 美麻青具17668番地 旧中村家住宅土蔵	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高は19.7cm、口径10.2cm底径8.5cm。口縁部の一部が欠損するのみでほぼ完形である。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は大原1号窯式(10世紀前半)。
横川重忠氏所有木造阿弥陀如来立像 H18. 3. 27 常盤須沼4308番地3	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。

千見細貝薬師堂の木造薬師如来立像 H18. 3. 27 常盤須沼4308番地3 横川重忠氏保管	薬師如来像は木食山居作と推定去れ、総高45cm、像高36.5cm、台座12.5cm。 附属指定の聖観音立像も木像も木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。 聖観音立像の総高53cm、像高43cm、台座10cm。
中村孝三述『学びの糸口』 H19. 3. 27 大町4733番地3 大町西小学校	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。
八〇栗林家文書一括 H28. 3. 24 大町4700番地 大町市文化財センター保管	江戸時代中期以降大町組の大庄屋を勤め、明治時代においても大町の大要職にあった八丸栗林家に残された古文書類で、江戸時代・明治時代の大町のようなことを知ることで近世(江戸時代)の文書 1,811 点・近代(明治～大正時代)の文書 614 点・計 2,425 点。
山千永田家文書一括 H28. 3. 24 大町4700番地 大町市文化財センター保管	美麻千見において江戸時代大町組千見村の庄屋を勤め、一時期大町組の大庄屋も勤め、明治時代初期に千見の戸長を勤め、旧美麻村の合併など新しい時代の村づくりに尽くした永田家に残された古文書類で、江戸・明治時代の山間地域のようすを知ることで近世(江戸時代)の文書 363 点・近代(明治時代)の文書 222 点・計 585 点。
[大町市民俗資料]	
宮本・松崎紙漉すき用具コレクション S50. 4. 15 社3945番地2	社地区は江戸時代から紙漉きが盛んで、宮本紙・松崎紙と呼ばれ珍重されてきた。この資料は当地で行われてきた紙漉き用具を集めたもので紙漉きの全容を知る上で貴重な資料である。大町市民俗資料館保管。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24 常盤6966番地	安政2年(1855)に絵師村上完民、中藤月漢によって描かれた縦210cm、横475cmの北安曇郡内最大の絵馬。画面下部に寄進者名などが村ごとに二段余にわたって列記されており、当時の庶民信仰の在り方などを示す貴重な資料である。
医王谷飯綱神社筒粥占い神事 H9. 3. 24 八坂25794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行なわれていたものである。伝承によれば江戸時代初期の元和7年(1621)に飯綱神社がその地に勧請されたときから、神事は始められたと言われている。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いをこなす年頭の神事。郡内では唯一の神事。
水上神社の御輿巡幸 H18. 3. 27 美麻9152番地	担い棒つき鳥居形、神殿等で構成されていたが、現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裃に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。神輿は、江戸時代末期の作と推定される。
[大町市史跡]	
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6 大町4729番地4ほか	鎌倉時代後期から室町時代末までの仁科氏の居館跡である。平城で規模は、東西180m・南北120m、外堀と内堀の二重の堀や土居を回らせた居館である。仁科氏の滅亡後にその菩提を弔って、ここに天正院を造ったといわれている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25 大字平8040番地443	古墳時代後期の6世紀末に築造され、8世紀初めまで使用された松本平では数少ない積石塚である。横穴式石室で埋葬状態もよく残っており、副葬品も豊富に残されていた。昭和58年に発掘調査。副葬品(出土品)は大町市文化財センターで保管。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27 美麻 新行 権現山南東	権現山の山麓に堂屋敷と言伝えられてきた礎石が残る屋敷跡。永禄年間(1558～1569)、戸隠大権現が上杉の兵火の難を逃れる為、この地に奉遷を計画したとの伝承がある。しかし文禄3年(1594)の鎮静により夫役別院から当地への奉遷はなかった。附属指定として、戴神社奥社に隣接するウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27 美麻 千見 城山25450番地口ー3ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌景により、弘治2年(1556)火攻めにされ落城したと伝えられる。曲輪や堀跡が残り、網戸、空堀、犬戻、厩、水の手、城裏、帳場、山城、一ノ木戸、二ノ木戸、西木戸、馬場、鍵掛などの地名が残る。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m×南北15mを計る。なお、天保6年造立の城主供養塔がある。

大塩山城跡 H18. 3. 27 美麻 大塩中村城山855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山城。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり、「木曾義貞、寿永3年(1184)義仲戦死後、仁科盛遠によって大野田に隠される。安貞元年(1227)森城に抛する阿部貞高を討つ為に大塩城を築く(信府統記)、後義重は仁科の姓を名乗る」とする伝承がある。
堀の内遺跡 H18. 3. 27 美麻 大塩中村城山938番地ほか	これまでに遺跡内では平成5年と平成12年における2回の発掘調査が実施されている。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡である。中世の遺構としては、居館が確認されている。大塩山城跡の根小屋と思われる。
[大町市天然記念物]	
オオヤマザクラ S46. 12. 10 大字平22419番地3ほか	日本でも北部の地方で自生するサクラで、群生地としては大町市が南限であり比較的分布密度の高い中綱湖・青木湖周辺の自生のサクラが指定されている。オオヤマザクラは淡紅色の華やかな色彩を持ち、病害虫にも強いサクラである。
霊松寺のオハツキイチョウ S63. 1. 14 大字大町6665番地イ	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意味で、ギンナンが葉の上に結実するもの。こうした葉はこの木の場合全体で10%程度である。オハツキイチョウは現在のイチョウの進化以前の姿といわれ、先祖返りのような珍しい現象で学術研究上貴重な木である。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23 大字常盤6720番地3	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。この存在によって、従来はなめらかな地形と考えられていた盆地の岩盤が、実はかなりの起伏に富んでいることがわかった。また糸魚川―静岡構造線の通過位置を知る貴重な手掛りでもある。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31 大字常盤4733番地ー1	目通り周囲3. 35m、樹高25. 5m推定樹齢300年。二次林の構成種としては稀に見る大木で、推定樹齢の割には樹形の均整がとれ、腐朽部が少なく旺盛な活力を維持している。大径木としては残りにくいカシワの中で巨樹として現存するのは珍しい。
市立大町山岳博物館のトキ標本 H4. 5. 19大町8056番地1	トキは特別天然記念物であり国際保護鳥として保護されてきたが、日本産のトキは絶滅した。このような状況下にあるトキの標本は大変に貴重なものである。
長野県大町高等学校のトキ標本 H4. 5. 19 大町3691番地2	市立大町山岳博物館のトキは大正8年(1919)11月、長野県大町高等学校のトキは大正6年(1917)11月にそれぞれ美麻で捕獲されたものである。
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19 常盤5445番地2	樹形は広円錐形で樹高20m、目通り周囲4. 2m。樹齢はおよそ250年と推定される。2本の独立幹が肥大成長するにもなって融合した「和合木」である。こうした融合の姿や分岐した二幹がよく似ていることから、地元の人々は『夫婦松』と呼んで大切にしている。
海ノ口のアカマツ(カサマツ) H5. 6. 25 平13188番地4	樹形は単幹の傘形で、樹高18m目通り周囲4. 17m。樹齢は300年以上と推定される。まっすぐに伸びた樹幹は地上9. 5mの位置で大枝に3分岐して、それが広がり傘形となっている。この樹形から地元の人々は『カサマツ(笠松)』と呼んで大切にしている。
中シマのモリアオガエル繁殖地 H6. 4. 28 平23109番地1	モリアオガエルは樹上に泡状の卵塊を産む特異な生態をもつカエルで、産卵は梅雨期の雨の降る夜間に行われる。大町市のモリアオガエルの繁殖地は、5カ所しかなく特に中シマは比較的まとまった産卵が見られる貴重な繁殖地である。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28 常盤4203番地	東西一対のカツラの木は薬師堂の門木として大切にされてきた。市内最大のカツラと思われるが、均整のとれた樹形をもち田園風景の中にひととき目立っている。東幹は樹高20. 5m、目通り周囲3. 5m。西幹は樹高25. 5m、目通り周囲4. 1m。
西山西原のイチイ H7. 4. 26 常盤8063番地5	イチイは別名アララギともいう。イチイがひととき目立つためこの木のあるりんご園は通称『アララギ園』と呼ばれている。樹高12. 5m目通り周囲2. 95m。雌雄異株で、この木は雌木である。イチイは大木として残るものは極めて少なく貴重である。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26 大町1517番地1	大黒天の石像の脇に生育しており、『大黒様のシダレザクラ』と呼ばれ親しまれている。樹高8. 5m、目通り周囲3. 05m。推定樹齢は約150年で石像の製作年代と重なる。シダレザクラでは市内最大のもの。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24 大町8254番地	樹高29m、目通り周囲5. 1m。三日町分水集落の氏神である若宮八幡宮の御神木で均整のとれた自然樹形を保っている。ヒノキは優良な建築用材であるために大径木として残るものは稀で貴重なものである。推定樹齢は400年以上。

西山城山のエドヒガン H9. 3. 24 常盤8099番地1	樹高29m、根回り周囲5. 33mで東西二幹に分かれたエドヒガンザクラ。 西山城跡の急峻な北斜面に生息しており、谷側に向かって枝を張る自然樹形である。この樹を切ると山が崩れると言い伝えられ、これが大径木になった一因となっている。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25 大町7174番地1	単幹で均整のとれた傘形の樹冠を呈する、樹高12m、目通り周囲4. 65mのエドヒガンザクラ。推定樹齢は300年程で、戦前までこの地にあったお堂との関係が考えられる。地元には400年程前に遊行僧がこの樹を植えていったという伝承がある。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19 平18235～18240番地	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属する。小形の二枚貝で、殻長は3～5mmを測る。地域指定された姿見の池は、西海ノ口西方の山腹(標高約1100m付近)にあり、面積は1. 5㎡の小さなものである。本主は今のところ市内ではここだけに確認されている貴重種である。
大倉のイチイ H18. 3. 27 美麻21770番地	昭和8年(1933)に旧長野県天然記念物指定。昭和44年県条例の全面改正により指定解除。坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4. 73m、根周り4. 7m、高さ21. 3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27 美麻9152番地	水上神社ご神木。目通り6m30、根周り7. 67m、高さ53. 1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。 「水上神社の小檜と杉」の名称で、昭和22年旧長野県天然記念物に指定。檜は現在枯れて切り株のみが残る。
若栗のアオナシ H18. 3. 27 美麻34161番地口 若栗峠	目通り周囲4. 31m、樹高16. 8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の枝幹。均整のとれた美しい立木。基部には洞が見られるが、近年保全対策も取られ、樹勢も安定している。
[大町市天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)。
大町市のヌマカイメン S62. 3. 2	大字平中綱湖と木崎湖下流の農具川に生息。かつては世界各地に広く分布していたが、開発や汚染などにより急速に姿を消しつつある淡水海綿の一種である。長野県下では大町市だけに生息し、希少かつ貴重な生物である。
大町市のカワシンジュガイ S62. 3. 2	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。県指定地以外の農具川と居谷里沢及びその周辺支流(水路)に生息。
大町市のキザキコミズシタダミ H13. 6. 27	キザキコミズシタダミは日本産ミズシタダミ科の希少種の1種に数えられている。カワシンジュガイとともに氷河期の生き証人(遺存種)ともいえる貝である。国内では大町市平の木崎湖と中綱湖にしか生息していないと考えられる貴重な固有種である。

指定文化財件数

国指定14件

国宝(建造物)1件、国重要文化財8件(建造物3件、美術工芸品5件)、国特別天然記念物(地域を定めず指定)2件、国天然記念物3件(このうち地域を定めず指定2件)

県指定28件

県宝8件(建造物4件、美術工芸品4件、県史跡1件、県天然記念物16件(このうち地域を定めず指定11件)、県無形文化財1件、県無形民俗文化財2件)

市指定79件

市有形文化財49件(建造物8件、美術工芸品41件、市史跡6件、市天然記念物22件(このうち地域を定めず指定3件)、市民俗資料4件(有形2件、無形2件))